ネギ編

病害虫注意報 2025年2月号

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

育苗期～定植前おすすめ防除

黒腐菌核病対策に

バスアミド®
微粒剤

・対象病害虫等：黒腐菌核病,白絹病,
ﾈｺﾌﾞｾﾝﾁｭｳ,ﾈｷﾞﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ,一年生雑草　等
・使用量：20～60kg/10a
・使用時期：は種又は定植14日前まで

使用量は対象病害虫によって異なります。
ラベルを確認の上ご使用してください。

土壌消毒のポイント

①砕土を丁寧に行う
・・・固まっている土の内部は
消毒されません！

②被覆を必ず行う
・・・被覆を行わないと薬剤が
抜けやすくなり、
表層しか消毒できません！

おすすめ定植前～定植当日処理剤

ベストガード粒剤

・ﾈｷﾞｱｻﾞﾐｳﾏ
・50g/ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ1箱
またはペーパーポット1冊
・育苗期後半～定植当日/1回

兼商ヨーバルフロアブル

・ｱｻﾞﾐｳﾏ類,ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類
・200倍　灌注処理
・育苗期後半～定植当日/1回

ミネクトデュオ粒剤

・ｱｻﾞﾐｳﾏ類,ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類
ｼﾛｲﾁﾓｼﾞﾖﾄｳ　等
・40g/ｾﾙ型育苗ﾄﾚｲ1箱
またはﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ1冊
・育苗期後半/1回

⚠ 注意 ⚠

ミネクトデュオ粒剤を使用した場合、
下記の薬剤は苗場での使用ができません!!

- ベリマークSC
- ベネビアOD
- アクタラ粒剤5
- ジュリボフロアブル
- プリロッソ粒剤オメガ
- アベイル粒剤
- アクタラ顆粒水溶剤

軟腐病

病原菌：*Pectobacterium carotovorum*
（細菌）

・収穫期に近づいた成株に発生が多い。
・葉身の展開部に水浸状の病斑を生じ、
茎盤基部が褐変し、地上部は生育不良になる。
・腐敗部はいずれも特有の腐敗臭を発する。
・土壌伝染性で、土寄せ・強風などによる葉擦れによって出来た傷から病原菌が侵入する。

参考画像：
玉ねぎ軟腐病

軟腐病対策に！

オリゼメート粒剤

- 植物の病害抵抗性を誘導
- 持続性に優れた効果

6kg/10a
土寄せ時
（但し、収穫30日前まで）
2回/株元散布